



利根町 DIYと豊かな自然を楽しむ

12



一軒家のリフォーム

Tone Town

2020年より茨城県利根町にお住まいのYさんは、お一人暮らしの60代の男性です。ご職業は大学等にて主に情報／システム系の講師をしています。趣味は旅行で、数年前病を患いましたが、その後寛解し、「やりたいことはやる」の姿勢でスペインなどの海外旅行を含む様々な場所を訪れているそうです。最近行きたいと思っている場所は北海道の網走とのこと。

利根町で人生の新たなステージに踏み出したYさん。空き家バンク制度利用の経緯と、穏やかで充実した日々を手に入れるためのコツについて、詳しくお話を伺いました。

Q. 空き家バンク制度を利用した経緯を教えてください。

2019年秋、台風による水害で当時いわき市にあった自宅が被災し、自宅を解体して社宅に移りました。2020年3月に現在の住宅を空き家バンク経由で取得し、住民票を移動しました。以降2年間はいわき市から現在の住宅に通いながらリフォームを行う日々。2022年3月に定年退職し、いわき市の社宅を退去して完全に移住しました。



Q. 空き家バンク制度の存在はどこで知りましたか？

不動産会社への相談や、インターネットでの情報収集を通じて空き家バンク制度を知りました。取扱件数が少ないため情報が少なく、インターネット検索で空き家バンクに関する情報を探すのに苦労しましたが、賃貸を含めて十分な調査を行った上で、空き家バンク制度の利用を決めました。実は空き家バンクの助成金の存在は契約後に知ったのです。もう少し行政が仲介手数料を補助し、民間の不動産会社にも補助を出して情報を求めている方に周知することが望ましいと感じました。

Q. 住宅取得時に重視したポイントを教えてください。

常磐線沿線で、水害リスクが小さい地域での住まい確保を検討していました。高齢者であるため不動産会社から賃貸の紹介が難しかったこともあり、過去の水害での被災経験を踏まえて、災害時の損失リスクが少ないコンパクトな住居を探しました。また、穏やかに暮らしやすく、都心や勤務地や離れて住む家族との距離が近いことも重視したポイントの一つです。



Q. 購入の決め手となった、気に入ったポイントを教えてください。

水害の心配がなく、コンパクトで価格が手頃であることです。取手駅からバスが出ており、交通の利便性も悪くないところも気に入っています。景色も良く、天気の良い日には、すぐ近所から筑波山や富士山が見えます。自転車で利根川沿いを走りながら景色を楽しんでいます。

Q. 購入後、改修・リノベーションは実施しましたか？

外壁が劣化しチョーキングが発生していたため、空き家バンクの助成金を利用して修繕しました。幸いなことにガス管や水道管には問題がなかったため、その部分のリノベーションは行いませんでしたが、特に注意すべきポイントかと思います。駐車場の拡張や洗面台・エアコンの交換などは外注し、自費で行いました。部屋の壁紙やトイレの便座の交換はDIYです。



Q. 現在の家で気に入っているところを教えてください。

特に備え付けのウッドデッキが気に入っています。ウッドデッキは以前住んでいた家にもあったので、あると落ち着きます。持ち家のため自由にカスタマイズできる範囲が広いことは利点ですね。天井から白く塗りつぶしたロールカーテンを吊り下げ、プロジェクターで映画を投影して楽しんでいます。また、今後はベランダにサンルームを増築する計画をしています。



Q. 地域コミュニティとの関わりについてはどうですか？

自治会に加入し、2年目からは班長と役員を務めています。地域を理解するのに役立っており、団地内で顔見知りが増えたことはとても良かったです。

Q. 空き家を検討している方々へのアドバイスはありますか？

改修やリフォームが好きな人にはお勧めします。自身と似た条件で住宅取得を検討している場合、空き家バンクの利用を検討する価値はあると思います。

空き家バンク制度を活用し、自然豊かな利根町でDIYを楽しみながら充実した生活を送っているYさん。Yさんの体験談は、茨城県内でコンパクトな住まいの取得を検討している方々にとって大変貴重な情報源となることと思います。ありがとうございました。